

定期報告（ウルグアイ内政・外交・経済：2026年6月）

2026年6月の当地における内政・外交・経済の主な動きについて以下のとおり報告する。

【ポイント】

<内政>

- 18日、政府は「競争促進及び生活費削減法案」を議会に提出した。
- 30日、政府は決算報告及び予算再編等に関する決算法案を議会に提出した。

<外交>

- 4日～7日、英利外務大臣政務官がウルグアイを訪問し、政府要人と会談した。
- 10日及び12日、ウルグアイはWTOの第6回貿易政策審査を受けた。

<経済>

- 30日、メルコスール首脳会議において日メルコスールEPA交渉開始が正式に発表された。
- 6月までに発表された主な経済指標及び貿易統計について、特記事項無し。

【本文】

1 内政

（1）競争促進及び生活費削減法案

18日、政府は「競争促進及び生活費削減法案」を議会に提出した。240項から成る大型法案で、官僚的障害を撤廃する行政改革を通じ、投資を促進し国内経済の活性化を図ることを目的としている。主な施策には、各種登録制度の統廃合、行政機関の回答期限を定め期限内に回答がない場合には申請が承認されたと見なす「積極的黙示承認」の導入、手続きの全面的デジタル化などが盛り込まれた。また、価格比較を容易にすべく商品の単位当たり価格の表示の義務付けや、同一商品の複数輸入を容易にすることで自由競争を促進する措置が含まれている。中道右派を中心とする野党は、経済界に対する政府の方向性及びメッセージ性において一定の賛成を示すものの、その効果等について懐疑的な見方も示している。

（2）決算法案

30日、政府は昨年（2025）の決算報告及び予算再編等に関する決算法案を議会に提出した。政府は、児童貧困対策、治安対策、教育及び路上生活者支援の4つの優先分野に約31億ドルの予算増を盛り込み、前者2分野にはそれぞれ10億ドル以上の予算増を請求した。オドネ経済財務大臣は、そのための財源は当初予算の再配分及び歳入増で賄われると説明し、当初の財政目標を維持すると強調した。また、歳入増の半分は昨年可決した税制調整により見込まれる税収増によるもので、残りの半分は電気自動車及びハイブリッド車の税制措置の変更（免税率の縮小による税収増）によると説明。なお、ウルグアイでは電気自動車等の普及促進のため税制優遇措置が行われてきたが、本年5月に初めて、月間販売台数がガソリン自動車を超えたことで（トラック・バス等除く）、同制度が一定の成熟期を迎えたとされ、優遇見直しの一因となった。

2 外交

（1）英利外務大臣政務官のウルグアイ訪問

6月4日から7日にかけて、英利アルフィヤ外務大臣政務官がウルグアイを訪問した。5日には、コッセ副大統領、ネグロ内務大臣、ルベッキン外務大臣、バルコルバ経済財務大臣代行らと会談し、両国が価値を共有する重要なパートナーであると確認した。特に、経済・貿易、治安分野での協力の拡大や、ウルグアイに進出する日本企業への支援強化について一致したほ

か、本年度に予定されるオルシ大統領の訪日や、ウルグアイが本年7月から議長国を務めるメルコスールを通じた日本との連携強化についても意見交換が行われた。また、外務省内の会場で、日ウルグアイ外交関係樹立 105 周年記念文化行事が行われ、多数の出席を得て、和太鼓演奏やウルグアイの著名音楽家等による演奏が行われた。

(2) ウルグアイの WTO 貿易政策審査

10 日及び 12 日、ウルグアイは WTO の第 6 回貿易政策審査を受けた。貿易政策審査は、WTO の主要な透明性確保の仕組みの一つであり、加盟国の経済・貿易政策の動向を定期的に評価する場となっている。今回、ウルグアイは 30 の加盟国から約 500 件の質問を受け、貿易・投資に関する幅広いテーマについて議論が行われた。審査の中で、ウルグアイは、マクロ経済の安定、財・サービスの輸出拡大、投資誘致、また、CPTPP 加盟交渉入りを含む国際経済統合の強化に向けた積極的な取組を強調した。一方、ウルグアイの貿易円滑化等に向けた改革が評価された反面、過去にも指摘されてきた、経済活動に占める国有企業の役割が依然として大きく、エネルギー、金融サービス、携帯電話サービスを始めとする経済の主要分野における競争が限定的であるとの評価を受けた。

3 経済

(1) 日本・メルコスール経済連携協定 (EPA) 交渉開始

16 日に開催された G7 サミットの機会に、高市総理大臣とルーラ・ブラジル大統領が首脳会談を行い、日本・メルコスール経済連携協定 (EPA) の早期交渉開始が発表され、その後、30 日にメルコスール首脳会議において同 EPA 交渉開始が正式に発表された。共同声明には、複雑化する国際情勢下、双方の経済関係の深化が戦略的に重要であるとの認識のもと合意に至った旨記された。また、同日よりメルコスール議長国がウルグアイに移り、ルベッキン外務大臣は、ウルグアイ議長国下で日本、インド及びベトナムとの会合を予定しており、既に交渉中のカナダとアラブ首長国連邦との協定の早期妥結を目指す旨述べた。また、EPA を含む経済関連協定を主導するスカシ外務次官も、日本との交渉を実施・推進する意向を表している。

(2) 主な経済指標及び貿易統計

主な経済指標

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
消費者物価指数 (%) *	3.46	3.11	2.94	3.16	3.77	4.25
失業率 (%)	7.4	7.4	7.8	7.5	7.6	*
平均賃金指数 (%)	5.24	5.22	5.34	5.12	5.12	*
対ドル為替 (ペソ) (平均)	38.439	38.567	40.358	40.009	40.005	40.266
新車売上台数 (台)	5,505	5,861	6,657	6,484	6,495	6,624

出所：国家統計院 (INE)、ウルグアイ自動車販売協会 (ACAU)

*4 月以降、INE による項目別の消費者物価指数の発表は中止となった。

*6 月時点で、同月の失業率及び平均賃金指数は未発表。

貿易統計

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
輸出 (*)	額 (百万ドル)	691	759	758	656	782	877
	前年同月比 (%)	4	13	18	-10	-5	5
	1 月からの累計 (百万ドル)	691	1, 441	2, 217	2, 869	3, 656	4, 535
	前年同期比 (%)	4	9	13	7	4	5
輸出 (**)	額 (百万ドル)	995	1, 025	1, 127	944	1, 142	1, 307
	前年同月比 (%)	9	9	7	-12	-3	-4
	1 月からの累計 (百万ドル)	995	1, 989	3, 158	4, 122	5, 271	6, 585
	前年同期比 (%)	9	8	9	4	3	1

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
輸入 (***)	額 (百万ドル)	872	849	1, 146	1, 011	1, 008	1, 096
	前年同月比 (%)	0. 1	-11	30	12	10	29
	1 月からの累計 (百万ドル)	872	1, 721	2, 853	3, 853	4, 848	5, 928
	前年同期比 (%)	0. 1	-5. 6	5. 4	6. 8	7. 2	10. 3

出所：貿易投資促進庁(Uruguay XXI) 毎月の輸出額及び同累計額は暫定値。

(*) フリーゾーンからの輸出は除外。(**) フリーゾーンの輸出を含む。

(***) 石油及び派製品を含まない。

製造業指数(%)

	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
全体	2. 7	-1. 5	1. 0	3. 9	3. 9	2. 3
食品	1. 6	0. 5	3. 5	6. 8	5. 5	3. 3
飲料	8. 2	5. 2	8. 7	2. 5	5. 2	7. 2
繊維製品	4. 0	15. 7	5. 0	14. 7	11. 6	6. 5
衣服	-5. 0	-25. 5	-12. 4	-5. 4	-5. 4	-5. 1
皮等	-19. 7	-1. 6	-2. 9	-0. 1	-3. 4	-3. 0
木材及び関連品	-3. 3	15. 5	11. 0	18. 2	20. 5	16. 5
紙等	2. 1	-2. 3	1. 0	-0. 1	0. 6	3. 3
製本	1. 7	-13. 9	-11. 8	-8. 7	-9. 2	-10. 6
石油派製品等	50. 6	-25. 4	-12. 2	-8. 7	-5. 8	-5. 1
化学品	-1. 6	30. 7	20. 7	23. 2	15. 9	9. 1
医薬品	0. 9	-8. 3	7. 2	7. 2	11. 3	9. 3
皮・プラスチック製品	-6. 8	-12. 2	-5. 5	-2. 4	4. 4	4. 4
金属鉱物	2. 6	-21. 8	-13. 5	-7. 7	-5. 5	-7. 7
礎金属	4. 0	-8. 4	-12. 5	-5. 7	2. 5	1. 8
金属製品 (機械を除く)	-0. 2	-17. 2	-16. 1	4. 9	8. 0	-0. 4
電子・情報・光学製品	15. 0	4. 1	-14. 1	-15. 6	-20. 4	-23. 6

電子機器	5.4	-13.5	-23.9	-14.5	-9.1	-0.8
機械・設備	11.5	-9.8	-26.6	3.7	-11.6	-20.4
自動車等	-6.1	1.6	-32.2	-8.1	-10.8	-19.6
家具等	-3.6	-10.3	-11.0	1.1	0.5	-0.9
その他製造業	-1.0	-13.5	-13.6	-8.6	-8.2	-10.4
機械設備修理	-7.0	-2.1	4.5	4.9	4.7	-0.4

出所：国家統計院（INE）

*6月時点までに発表された数値。

4 要人往来

（1）往訪

- 1日～10日：フラッティ農牧水産大臣のロシア訪問（国際経済フォーラム）
- 8日：オルシ大統領のアルゼンチン訪問（アンネ・フランク賞授与記念式典）
- 10日：マイア教育文化大臣のパラグアイ訪問（メルコスール会合）
- 15日～18日：ルベッキン外相、フラッティ農牧水産大臣、セペダ・スポーツ庁長官の米国訪問（FIFA関連イベント）
- 16日～25日：メノニ観光大臣の米国訪問（FIFA関連イベント、帆船関連イベント）
- 18日：ルステンベルグ保健大臣のパラグアイ訪問（メルコスール会合）
- 22日：ルベッキン外務大臣のパナマ訪問（OAS会合）
- 28日～30日：オルシ大統領、ルベッキン外務大臣、オドネ経済財務大臣のパラグアイ訪問（メルコスール会合）

（2）来訪

- 4日～7日：英利政務官

（了）